

**平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について〈藤沢市の状況〉**

◇ **暴力行為の状況 (H25～H27)**

小学校	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	2	2	2	2	3	6
生徒間暴力	2	3	1	3	5	21
対人暴力	0	0	0	0	0	0
器物損壊	0	0	2	14	0	0
合計件数	5件		19件		27件	

中学校	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	校数	件数	校数	件数	校数	件数
対教師暴力	6	12	4	42	2	2
生徒間暴力	13	53	14	121	14	57
対人暴力	0	0	1	7	0	0
器物損壊	6	20	6	96	7	33
合計件数	85件		266件		92件	

小・中計	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	90件		285件		119件	

## ◇ いじめの状況（H25～H27）

【いじめの定義】本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。

### 《小学校》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成25年度	21	17	0	1	3
平成26年度	18	9	8	1	0
平成27年度	54	39	7	6	2

### 《中学校》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成25年度	65	51	12	2	0
平成26年度	109	94	13	1	2
平成27年度	114	102	11	1	0

### 《合 計》

	認知件数	解 消	一定の解消	取組中	転学等
平成25年度	86	68	12	3	3
平成26年度	127	103	21	1	2
平成27年度	168	141	18	7	2

### ○学校で把握したいじめの態様別件数（複数回答）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
冷やかし・からかい 悪口・脅し文句	小	13件	9件	29件
	中	39件	80件	65件
仲間はずれ 集団による無視	小	4件	4件	15件
	中	11件	9件	12件
軽い暴力	小	2件	4件	9件
	中	7件	10件	8件
ひどい暴力	小	2件	0件	3件
	中	2件	1件	1件
金品をたかる	小	2件	0件	0件
	中	3件	0件	2件
金品を隠す・盗む 壊す・捨てる	小	1件	1件	6件
	中	1件	2件	4件
いやなことをされる いやなことをさせられる	小	2件	0件	1件
	中	6件	8件	4件
パソコンや携帯電話 による誹謗中傷	小	0件	1件	2件
	中	10件	6件	26件

## ◇ 不登校の状況（H25～H27）

### 【参 考】 不登校の定義

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくとも出来ない状況にあることをいう。

年間30日以上欠席（ただし、怠学は含み、病気や経済的な理由によるものは除く）

《小学校》

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成25年度	6		5		7		15		21		20		74	
	2	4	0	5	6	1	8	7	12	9	12	8	40	34
平成26年度	3		13		14		14		26		37		109	
	1	2	6	7	8	8	8	6	13	13	21	16	57	52
平成27年度	12		7		22		15		21		22		99	
	6	6	5	2	12	10	7	8	10	11	11	11	51	48

### ○不登校となったきっかけ（複数回答）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
いじめ	3人	1人	2人
いじめを除く友人関係の問題	11人	13人	12人
教員との関係	4人	3人	5人
学業の不振	9人	2人	10人
進路に係る不安	*	*	0人
クラブ活動・部活動への不適應	*	*	1人
学校の決まり等をめぐる問題	*	*	3人
入学・転入・進級時の不適應	1人	4人	11人
家庭に係る状況	22人	38人	59人

### ○効果のあった学校の対応（複数回答）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
教職員の研修会等で共通理解を図る	*	*	1人
児童との触れ合いを増やした	3人	6人	4人
教育相談担当の教師が専門的な指導	*	*	3人
養護教諭からの専門的な指導	2人	5人	2人
SC、相談員等が専門的な指導	*	*	7人
友人関係改善のための指導	3人	7人	4人
教師との関係改善	5人	7人	4人
授業方法の改善、個別指導等の工夫	*	*	3人
活動できる場を用意	2人	7人	5人
保健室等の別室登校	7人	12人	6人
登校刺激（電話や迎え）を与えた	9人	17人	10人
家庭訪問を通して指導・助言を行った	6人	16人	4人
保護者の協力で家族関係・生活を改善	6人	9人	5人
相談機関との連携	1人	7人	2人
医療機関との連携	*	*	1人
その他	*	*	0人

\* 印は今年度新たに回答項目に加わったため、過去の数値がないもの

《中学校》

	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
平成25年度	38	26	55	53	76	52	169	131
平成26年度	37	25	63	58	79	70	179	153
平成27年度	55	45	58	41	64	59	177	145

○不登校となったきっかけ（複数回答）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
いじめ	12人	11人	5人
いじめを除く友人関係の問題	65人	75人	141人
教員との関係	5人	16人	9人
学業の不振	40人	34人	38人
進路に係る不安			14人
クラブ活動・部活動への不適応	*	*	11人
学校の決まり等をめぐる問題	*	*	17人
入学・転入・進級時の不適応	12人	7人	38人
家庭に係る状況	80人	77人	115人

○効果のあった学校の対応（複数回答）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
教職員の研修会等で共通理解を図る	*	*	3人
生徒との触れ合いを増やした	6人	8人	6人
教育相談担当の教師が専門的な指導	*	*	1人
養護教諭からの専門的な指導	8人	8人	7人
S C、相談員等が専門的な指導	*	*	12人
友人関係改善のための指導	*	*	4人
教師との関係改善	8人	11人	7人
授業方法の改善、個別指導等の工夫	*	*	2人
活動できる場を用意	*	*	2人
保健室等の別室登校	12人	17人	8人
登校刺激（電話や迎え）を与えた	9人	14人	10人
家庭訪問を通して指導・助言を行った	11人	12人	12人
保護者の協力で家族関係・生活を改善	5人	10人	7人
相談機関との連携	5人	9人	10人
医療機関との連携	*	*	4人
その他	*	*	1人

\* 印は今年度新たに回答項目に加わったため、過去の数値がないもの

平成27年度「児童・生徒の問題行動等調査」の結果について<神奈川県・全国の状況>

◇暴力行為の状況（対教師・生徒間・対人・器物損壊の総数）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	27（前年比 8↑）	3,313（前年比 1,134↑）	1,7137（前年比 5,665↑）
中学校	92（前年比 174↓）	3,598（前年比 324↓）	33,121（前年比 2,562↓）

児童生徒1,000人あたりの発生件数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	1.2件	7.3件	2.6件
中学校	8.7件	17.2件	9.5件

◇いじめの状況（認知件数）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	54（前年比 36↑）	5,030（前年比 1196↑）	151,190（前年比 28,456↑）
中学校	114（前年比 5↑）	2,554（前年比 250↑）	59,422（前年比 6,451↑）

児童生徒1,000人あたりの認知件数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	2.3件	11.1件	23.1件
中学校	10.8件	12.2件	17.1件

※神奈川の数値は公式発表ではなく、指導課の概算によるもの

◇不登校の状況

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	99（前年比 10↓）	2,307（前年比 136↓）	27,581（前年比 1,717↑）
中学校	322（前年比 10↓）	6,617（前年比 303↓）	98,428（前年比 1,395↑）

児童生徒1,000人あたりの発生人数（藤沢市との比較）

	藤 沢 市	神 奈 川 県	全 国
小学校	4.3人	5.1人	4.2人
中学校	30.5人	31.6人	28.3人